

課題番号	応募者名	事業名	評価者の主なコメント	評価者のコメントに対する回答
J1903	東急建設株式会社	廃棄物最終処分場における鋼管ケーシング削孔工法による多目的井戸システムの開発	<p>実用化の検討には遠い。実験条件設定に問題があったと思える。</p>	<p>通気システムの諸条件に見合った処分場であれば効果は期待できると考えております。今後は処分場の条件に合わせられるようなシステムを構築する必要があります。</p>
			<p>埋立対象の主体が焼却残さである日本の埋立処分場より、開発途上国の処分場で有効と思われる。</p>	<p>今後、CDMIに対する技術を含め、途上国に対しても適用できるよう努力いたします。</p>
			<p>2重管の優位性等、実験目的、目標が不明確である。</p>	<p>2重管は同一箇所での吸引、通気が可能であるという前提で進めましたが、書く先生方のご意見を参考に今後改良していきたいと思えます。</p>
			<p>通気が底部まで届いているのかどうか不明である。</p>	<p>計測では自然通気では15mの深さまでは届いておりませんでした。今後は、通気設備の再検討、管構造の検討を行い、できるだけ底部に近づけるように努力したいと思います。</p>
			<p>自然エネルギー利用の通気・排気装置は送風圧の不足から効果は期待できない。</p>	<p>フロアに比べ自然通気は圧力不足となりますが、ガス圧が低い箇所では有効と考えております。通気・排気装置について今後も検討を実施する予定です。</p>